

令和7年度 福祉学習推進研修会

「学校×社協×地域＝共創教育」

開催要項



- 1 目的** 少子高齢化や核家族化、世界的なパンデミックによる生活困窮や社会的孤立、若年層の自殺者増加等、「**ふだんのくらし**」を支える地域基盤に陰りが見える現代において、見守りや居場所づくり等、地域全体で相互に支え合えるような地域づくりで「地域課題の解決力・地域を基盤とする包括的支援力」を高めていくためには、福祉・教育・医療等、様々な分野での連携が必要です。
- 本研修会では、地域を取り巻く課題及び、制度や分野の縦割りを超えた多様な主体との連携・協働による地域づくりについて研究し、「地域共生社会」及び「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取り組みの充実を図ることを目的に開催します。
- ◆『福祉学習』◆
本センターでは、福祉教育・ボランティア学習を『福祉学習』と表現（呼称）しています。

◆『共創教育』◆
多様な人々（学生、教員、地域住民、社協、企業、NPO等）が、対話と実践的な学びを通じて協力しながら、新しい価値や解決策を共に創り上げていくことを目指す教育のあり方です。
- 2 主催** 愛媛県社会福祉協議会
(愛媛県ボランティア・市民活動センター 福祉学習プロジェクト委員会)
- 3 後援** 愛媛県教育委員会
- 4 日時** 令和8年2月15日（日）13:00～16:30
- 5 会場** にぎたつ会館 1階「芙蓉の間」（松山市道後姫塚118-2）
- 6 対象** 小学校・中学校・高等学校等の教職員、学校教育関係者（教育委員会等）、市町社協の福祉学習担当者、ボランティア・NPO団体職員、「福祉学習」に関心のある方 等
- 7 定員** 90名 ※定員超過の際は調整をお願いする場合があります。
- 8 参加費** 無 料
- 9 内 容** 別紙「プログラム」のとおり
- 10 申込方法** G o o g l e フォーム (<https://forms.gle/taeFZEf5moWdAvBV6>) からお申し込みください。※1名ごとにご入力ください。
- 11 申込期限** 令和8年2月4日（水）まで



12 連絡事項

- (1) 要項のデータは、愛媛県社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。
(URL <https://www.ehime-shakyo.or.jp>)
 - ◆「トップページ」→「ボランティア・NPO」→「愛媛県ボランティア・市民活動センター」をクリック
- (2) 参加申込書で取得した個人情報は、その取扱いに十分注意し、本事業の参加者管理及び資料への掲載以外の目的では使用しません。
- (3) 会場の駐車場は数に限りがありますので、可能な限り公共交通機関等をご利用の上、ご来場ください。満車の場合は、各自で周辺の有料駐車場をご利用ください。

13 問合せ先

愛媛県ボランティア・市民活動センター（担当：松本・友澤・葛本）

愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号

TEL 089-921-8912 FAX 089-921-8939

Eメール vsc@ehime-shakyo.or.jp URL <https://www.ehime-shakyo.or.jp>

令和7年度 福祉学習推進研修会
「学校×社協×地域＝共創教育」



プ ロ グ ラ ム

時 間	分	内 容
12 : 30～13 : 00	30	受 付
13 : 00～13 : 05	5	開 会・オリエンテーション 挨拶：愛媛県ボランティア・市民活動センター 福祉学習プロジェクト委員会
13 : 05～14 : 05	60	【基調講演】 「福祉教育の原論と方法、期待と課題」 ■日本福祉大学 学長 原田 正樹 氏
14 : 05～16 : 25	140	【シンポジウム】 「福祉教育・ボランティア学習のプラットフォームの変遷と可能性 ～地域の歩みとこれからの未来～」 ＜シンポジスト＞ ■松野町社会福祉協議会 地域福祉係長 武田 祥枝 氏 ■愛南町社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉課長 宮崎 早苗 氏 ＜コメンテーター＞ ■日本福祉大学 学長 原田 正樹 氏 ＜コーディネーター＞ ■山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 高木 寛之 氏
16 : 25～16 : 30	5	閉 会 挨拶：愛媛県ボランティア・市民活動センター 福祉学習プロジェクト委員会